

## 波動ケア・ホメオパシーメソッド オンラインサロン 5月28日 コロナ後遺症の症例

コロナの時の症状

- 41歳女性
- 2020年の7月に新型コロナウイルスに罹患
- 喘息の既往症、酸素吸入経験あり
- 今回、9日間の入院、20Lの酸素吸入、何種類もの抗生物質投与、快復期に血液凝固予防のため、血漿を2回投与
- 看護師が私に食事を与えようとしたけれど、手も何もかも動かなくて、3回嚙んだだけで終わったことを覚えている。1日に2回、体位変換してくれるのが精一杯。咳もひどくて、呼吸困難。
- 頻脈

そして、2021年の10月にホメオパシーへ

その時の症状は

- 疲労：家に帰ると横になりたいだけ。犬と散歩もできない。運動は全くできていない。ハイキングが好きだが、それもできない。ほんの少し歩くだけ。これが1年以上続いていてフラストレーションが溜まっている
- 関節痛がひどい：痛みがひどくて動かせない。薬も使ったが、数日は良いけれど、それ以上は良くならない。ガンガンするような痛み、一日中痛い。手、背中、膝、肩そして指さえも。今は、冷たくなっていて、朝起きた時に悪化する。まるで80歳になった気分。心配したり、ストレスがかかったり、落ち込んだりすると、痛みは余計にひどくなる。朝、起きるや否や、そんな気持ちになり、1日の終わりはさらにそう思う。起きて日中に歩こうとする・穏やかな動きで少しは楽になる。入浴や夜の温かいシャワーで楽になる。
- ブレインフォグ：コロナに罹る前から看護学の修士の勉強をしていたけれど、脳が使い物にならないので休学せざるを得なかった。今でも疲労を感じる。
- 外気で好転、暖かい部屋に敏感、涼しい外気を好む。
- チョコレート、ビール。サクサクした豚の油を好む。
- 高いところ、ひとりになる事、人が離れていくことが怖い。
- 気分がすぐ変わる。

## コロナの時の症状

- 73歳男性
- 2021年1月に新型コロナウイルスに罹患
- 2週間、非常な苦痛を味わう、吐き気、衰弱、便秘。2週間食べられず、結果約10kg体重が落ちる
- この後、他の症状が始まる：集中力が落ちる、ブレインフォグ、疲労、呼吸困難、バランスを失う、中程度の咳、過剰なゲップ、関節の痛み、筋肉の衰弱、頻脈

そして、2022年10月にホメオパシーへ

- すべての症状がしつこく続く、消化器系の症状を除いて
- 現在のエネルギー値は、3/10（10が一番強い）、疲れた後は、ふらつき、椅子から起き上がるエネルギーもない
- 呼吸困難と深い乾いた咳が一日4～5回くらい起こる
- 咳の発作は、約30秒くらい続き、一度咳するとひどい状態で吐いてしまう
- 頭痛は屈むと悪くなる
- ブレインフォグ
- 歩き出した途端に疲れを感じる。時々、足を引きずり、椅子から立ち上がれない
- 皿を洗えない、ペットボトルを握り潰せない、トイレに行くのも難しく、家の周りも歩けない
- 疲労で悪化
- 喋ると余計に疲れる。10分話すのがやっと、頑張らないとできない
- ゲップをすると楽
- 温かいと好転する、隙間風に堪えられない
- 喉は渴かない